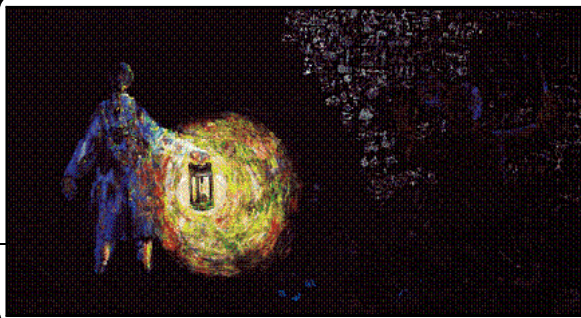


2009 『在日朝鮮人歴史・人権週間』 全国集会 (名古屋)

* ここで使用する「朝鮮」とは南北朝鮮全体を包括するものであり現在の国籍に限定されない概念である。



趣旨：人種主義等に関する国連特別報告者は「最も甚大な表れ方をしているのは文化的・歴史的性質を有する差別である。」「コリアン・中国人コミュニティについては、こうしたマイノリティに対する差別の歴史的・文化的根深さが日本では認識されていない。」(D・ディエン国連特別報告者「日本公式訪問」2006.1.報告書)とした。在日朝鮮人に対する差別の根源を知り根本的・全面的解決を考える初の人権週間である。

2009年のテーマ 「朝鮮人強制連行」法的視点から、
在日の無年金、消えた年金 期間(7/3 ~ 7/末)

日時：2009年8月29日(土) ~ 30日(日) 名進研ホール (JR名古屋駅徒歩5分)

〒451-0045 名古屋市西区名駅 2-34-19 (代) T 052-582-2003 F 052-582-2011

8月29日 午後1時 開場 【資料代 1500 円】 * 2009「在日朝鮮人歴史・人権」リーフレット持参者は 1000 円

午後1時 オープニングセレモニー

寸劇：テマンハルモニとマダンのハルモニ (テマンおばあさんとマダンのおばあさん)

証言：長野・平岡ダムに連行されたアボジ *日弁連人権救済申立人

午後1時45分 開会

午後2時 シンポジウム「朝鮮人強制連行とは」-新たな視点で提案する

床井 茂 日本弁護士連合会「朝鮮人強制連行」に対する勧告から

弁護士、元日本弁護士連合会人権擁護委員会朝鮮人強制連行事件調査委員会委員長。

前田 朗 「いい仕事がある」と騙して海外に、最高裁の判例から

東京造形大教授(刑法)、在日朝鮮人・人権セミナー事務局長、『ジェノサイド論』(青木書店)等、

金 順 愛 中島飛行機半田工場被連行者の年金と現在、そして日本国内からの徴用

愛知県朝鮮人強制連行真相調査団(朝鮮人側)事務局長。

午後4時 まとめ 各地からの報告とアピール採択

午後6時 懇親会 和食カブト名駅店 (参加費5,000円 青年・大学生3,000円) 飲み放題

名古屋市中村区名駅 3-18-20 TEL 0120-324-489

8月30日 フィールドワーク (午前8時 JR名古屋桜通口噴水広場集合) 現地事務局に事前予約必要

①名古屋市東山霊安殿、②岐阜県久々地下工場 ①、②から希望する場所1カ所選択。



主催：「在日朝鮮人歴史・人権週間」実行委員会

共同代表：清水澄子(朝鮮女性と連帯する日本婦人連絡会代表)、原田章弘(朝鮮人強制連行真相調査団日本人側共同代表)、床井茂(在日朝鮮人権セミナー代表)、高德羽(調査団朝鮮人側代表)、柳光守(在日本朝鮮人権協会顧問)、安川寿之輔(名古屋大学名誉教授)、森正孝(映画「侵略」上映委員会代表)

事務局(東京) フォーラム平和・人権・環境(歴史・人権担当)

東京都千代田区神田駿河台3-2-11総評会館1F

T.03-5289-8222 F.03-5289-8223

(大阪) 大阪市北区西天満6-7-4 大阪弁護士ビル 空野法律事務所

T.06-6361-5488 F.06-6361-5486

(現地) 名古屋市西区上名古屋3-16-25 「歴・人」東海実行委員会

T.052-618-7771 F.052-618-7770

賛同団体：平和フォーラム、自治労、曹洞宗、部落解放同盟中央本部、I女性会議、在日本朝鮮青年同盟中央本部、在日本朝鮮留学生同盟、在日本朝鮮仏教協会、タラウ・マキン島同胞犠牲者遺族会、全国25都道府県別朝鮮人強制連行真相調査団(日本人側・朝鮮人側) * 共同代表及び賛同団体、順序不同。

8月30日 『在日朝鮮人歴史・人権週間』全国集会フィールドワークの案内

①名古屋市東山霊安殿 2005年6月、調査団が開設し



た「ホットライン」に、無縁仏として名古屋市の東山霊安殿に眠る朝鮮半島出身者の遺骨の一部が無断で粉碎されたとの情報が寄せられた。以降、総聯、民団愛知県本部、愛知県調査団に

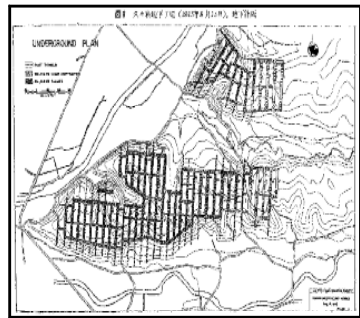
よる遺骨返還に向けた取り組みが始まった。

愛知調査団が被害者の本籍を探し出し遺族へ手紙を送った結果、詳細を知りたいとの連絡が届いた。

「15年前に死亡届を仕方なく出した。...もう少し早かったら、遺骨は粉碎されずに家に帰ってこられたのに残念だ。日本で遺族を探してくれたことを感謝している。父が日本でどのように暮らし、名古屋で亡くなったのか調査を望む」＊関連ビデオ(20分)名古屋テレビ制作『砕かれた遺骨 - 朝鮮半島出身者の遺骨問題を追って - 』

②三菱第四エンジン製作所岐阜県久々利工場 計画総

面積 3,300 m²。トンネルの断面は、幅が4.9m、高さが3.5m。戦争末期、米軍の空襲に備え、航空機を生産する工場を山間部に大規模なトンネルを掘り移動するために作られた。岩盤に刻まれたツルハシの爪跡が当時の突貫工事の様子を今に伝える風景になっている。その足跡が残る地下壕は、全国各所に掘られた地下壕の中でも、最大級の規模と構造をもった地下壕跡地になっている。＊調査団編著『朝鮮強制連行調査の記録 - 中部・東海編』(1997.3.柏書房)



＊宿泊について：名古屋駅前にはビジネスホテルが集中しています(チサンイン名古屋・食事無・5,000円から)。またインターネット検索を利用すると東京～名古屋往復新幹線とホテル代込みで21,000円(赤い風船 JR セットプラン)もあるようです。

2009『在日朝鮮人歴史・人権奨励賞』について

趣旨 在日朝鮮人歴史・人権週間の趣旨に基づく活動の中から、著しい成果を上げた青年学生団体に奨励賞を授与する。

趣旨に基づく活動

在日朝鮮人の過去の歴史に関する内容——正しく学び、知らせる活動(リーフレットに基づく学習、強制連行地のフィールドワーク、調査、研究、証言収集、文化芸術活動等)

国際的な人権規範に基づく在日朝鮮人の権利擁護活動(朝鮮学校の権利、在日一世の無年金問題、住宅差別、在日朝鮮人と団体に対する抑圧等)であるが、2009年のテーマに関連する活動を歓迎する。

審査基準

在日朝鮮人の歴史、朝鮮人強制連行調査、人権擁護等で現在、切実に求められている課題、問題を取り扱った活動。

日本人と在日朝鮮人の共同行動、各々独自の活動、学生団体もしくはサークル(大学・高校含む)活動。

幅広く、長期的または期間を定めた集中活動。

表彰 ・特別賞(記念品及び奨励金 20 万円) ・優秀賞(前同、奨励金 10 万円) ・奨励賞(前同、奨励金 5 万円) ・申請は自薦及び他薦も含める。

申請：報告書、活動内容のビデオまたはCD、写真を9月末までに郵送する。審査は実行委員会が行い11月初旬の「まとめの会」で公表し、記念品と奨励金進呈。

送付先：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館内

平和フォーラム(歴史・人権奨励賞係) T: 03-5289-8222 F: 03-5289-8223

締め切り：2009年9月末日(必着)

＊2008「人権奨励賞」受賞団体及び内容は2009[歴・人]リーフレットP.82参照。

ロゴマーク募集

青年学生の作品/優秀賞(5万円)/個人、グループ申請可/B5用紙にカラーで作成する。(「在日朝鮮人歴史・人権週間」との名称を日本語・朝鮮語で挿入する。歴史は[]と表記する)/ロゴマークの趣旨及び作成者の連絡先(住所、氏名、所属、TEL)を明記する。/締め切り、送付先、発表は「歴史人権奨励賞」同。

関連集会の案内

- 東日本集会 7月18日～19日 横須賀市ヴェルクよこすか 18日：在日証言・シンポジウム・写真展他 19日：フィールドワーク(貝山地下壕)
- 関西集会 10月17日 神戸市教育会館/証言・シンポジウム・写真展・演劇他
- 都道府県別集会は「平和フォーラム」及び「朝鮮新報」参照

FAX 052-618-7770

フィールドワーク申請書(車の手配等があるので参加者は事前にFAXで連絡してください。) いずれかに○を付けて下さい。時間の関係上2カ所に参加できません。

名古屋市東山霊安殿

②三菱第四エンジン製作所岐阜県久々利工場

氏名()

連絡先 電話番号()

)